

篠崎中学校だより



文責：北九州市立篠崎中学校校長 青木哲也

【前期振り返り】



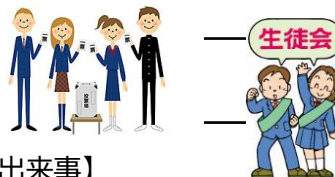
・前期の学校評価アンケートの結果を整理しました。オンラインによる返信であったこと、夏休み期間中に家庭でお願いしたことなどもあり、回収状況は、あまりよくありませんでした。今後、このようなwebの形態の質問等が増えると考えられますが、是非、ご協力ください。近日中にHPにアップします。この内容に関しては、11月10日の学校運営協議会で説明し、ご理解をいただきました。

・生徒の姿や学校の取組等に関する質問の多くに対しては、6割～9割が肯定的な回答でした。

・ICTの活用や朝の読書に関する取り組みも概して肯定的な意見でした。

・気になる点としては、「自分の考えを言葉で表現できる」こと、「学校からの通信等を読んでいる」ことに関しては、生徒・保護者共に課題を感じているようです。授業や学校の活動で、改善につながる取組を進めていきます。

・記述の中では、定期テストの順位のこと、2学期制のこと、学習評価のこと、学校行事が見られないこと、などが多く意見として挙がってきました。実施している一つ一つには意図があり、それが伝わっていないことや説明が足りていないことなどが多くあり、しっかり説明していきたいと考えています。このような課題に対する対応を後期や来年度に向けて改善していきたいと考えています。



【うれしい出来事・残念な出来事】

*生徒会選挙の中で

・久々に生徒の声が響く、朝の選挙運動が始まりました。マスク越しにアピールして、顔や名前を覚えてもらうことには苦労しているようです。篠崎中学校がよりよい学校になるように、皆さんの力を集めて日本一の学校を創りあげてください。

*ボランティア

・朝の枯れ葉集めを、2年生が手伝ってくれています。というよりも、「今日はお天気なのでしましょ」と意欲的な働きかけをしてくれています。寒くても、一生懸命取り組むと温かくなります。仲間が増えると一層、温かくなります。いつもありがとう。

*人を大切にすること

・人の活動が活発になると、自分の思いと人の思いがすれ違ったりすることが起こり、時折、涙を浮かべている人を見ます。まずは、気持ちや思いを人に伝えましょう。そして、相談して解決の方法を一緒に考えましょう。先生たちも待っています。

【来年度に向けて】

◎後期・来年度に向けて様々なことを検討しています。そのいくつかをお知らせします。

①本校は、コミュニティスクール(学校運営協議会を置く学校)として、運営を進めています。この中には、小学校の校長先生や地域の方も含まれています。来年度は、この運営協議会を小学校と中学校協同して、設置し、小中を一貫した教育を進めます。

②合わせて、前期後期制も小学校と歩調を合わせて、継続します。

③前期後期の2学期制に合わせて、面談やテスト行事等、根本的に年間計画を検討します。

④「授業時数特例校」という制度を導入して、教科の内容はそのまま、全体の時間数を減じて、45分をベースにした授業を進めます。

生み出された時間は、「教科横断・総合的な学習」「特別活動」などに上乗せして、探求的な学習やキャリア教育等、様々な幅広い教育に対応できるようにします。また、日常的には、ひまわり学習塾とともに、放課後質問教室などを充実させ、個人個人にあった個別学習を進めていきます。

⑤部活動に関して、「多くの生徒が参加できる」「多くの先生が特技を生かし指導できる」ことを柱に、部活動の設置と廃止などのルールを明確にして、運営する方法を検討しています。

④と⑤に関しては、地域の方に指導の協力を仰ぐことも考えています。

※ 詳細は、随時、発信していきます。



【部活動】

・まだ、日々の活動ができるようになって間もないですが、充実した活動になるように頑張ってください。新人大会なども進んでいます。上位大会に勝ち進んだ競技もあります。12月末の集会では、表彰を予定しています。

【表彰】

・昨年度から今年にかけて、いろいろな制限のある中、生徒の活躍の場として作品応募などを進めてきました。

・今回、税の作文で、3年生の水口さんが、「税があつてこそ暮らし」の題で、小倉納税貯蓄組合連合会の会長賞を受賞しました。

校長室にて、表彰式が開催されました。

